

令和3年度第6回教育研究評議会議事録

日時 令和3年9月15日(水) 14:30～17:18 TV会議
場所 事務局5階大会議室、S-P o r t 3階会議室
出席者 日詰、塩尻、川田、森田、大場、川村、片田、池田、高倉、金原、本橋、
近藤、田島、桐谷、熊倉、村山、笹原、小西、田中、山本、喜多、木村、
加藤、江口、猪川、原、朴、坂本の各評議員
平井副学部長（鳥山委員の代理）
欠席者 三村委員
陪席者 鈴木、河島の各監事、井柳、粟井、下村の各学長補佐
厨子 大学教育センター長、小南 全学入試センター長、長谷川 情報基盤センター
長、北村 防災総合センター長

I 前回議事録の承認について

令和3年度第5回教育研究評議会議事録（案）を原案どおり承認した。

II 審議事項

1 静岡大学の将来構想について

議長から、静岡大学の将来構想について、資料1-1により、令和2年度以降の会議等の開催状況、資料1-2により、第33回静岡大学・浜松医科大学連携協議会（令和3年8月31日）、資料1-3により、第3回浜松地区大学再編・地域未来創造会議（令和3年7月30日）の報告があった。

2 「静岡大学SDGs宣言」及び「静岡市SDGs宣言書」について

議長から、「静岡大学 SDGs 宣言」及び「静岡市 SDGs 宣言書」について、資料2により提案があり、審議の結果、これを承認した。

3 静岡大学未来創成本部の設置に向けた「本部準備室」の設置について

森田委員から、静岡大学未来創成本部の設置に向けた「本部準備室」の設置について、資料3により提案があり、審議の結果、これを承認した。

また、議長から、6月の本会議で静岡・浜松両キャンパスの教育研究組織検討ワーキンググループの中間まとめについて報告いただき、執行部で引き取り検討してきたところであるが、引き続き、各学部等と意見交換を進めて成案を取りまとめていく予定であるのでご承知いただきたいとの発言があった。

4 第4期中期目標・中期計画について

森田委員から、第4期中期目標・中期計画について、資料4により、9月末までに提出を求められている文部科学省から素案に係る確認事項に対応した修正案及び「その他の記載事項」の提案があり、審議の結果、これを承認した。

<委員から出された意見等>

- ・ 田中委員から、評価指標【3-1】に産業イノベーション人材育成プログラムの履修者数を最終年度までに合計96名以上とあるが、達成水準の根拠を教えてくださいとの質問

があり、川田委員からこれまで、年間 16 名程度の実績があり、第 4 期もその実績を維持するということで評価指標としたとの回答があった。

- ・ 山本委員から、評価指標を確認する際、根拠が示されていないければ判断のしようがないため、実績等の資料を提示いただけないかとの発言があり、塩尻委員から、教育の部分では、研究と違い数値を出しにくく、具体的な根拠を示すのが難しい事項もあるとの発言があった。また、議長から、達成には部局の協力が必要であるため、根拠データ等をできるだけ示したいとの発言があった。
- ・ 喜多委員から、第 3 期中期目標期間は浜松キャンパス 100 周年事業があり、多くの寄付をいただいているが、第 4 期は第 3 期の受入額（平均年額）に比して増加が可能であるのかとの質問があり、片田委員から、第 3 期の水準を維持したいとの発言があった。

5 山岳流域学位プログラム設置準備委員会の設置について

森田委員から、山岳流域学位プログラム設置準備委員会の設置について、資料 5 により提案があり、審議の結果、これを承認した。

6 ダルエスサラーム大学（タンザニア）との大学間交流協定の締結について

近藤委員から、ダルエスサラーム大学（タンザニア）との大学間交流協定の締結について、資料 6 により提案があり、審議の結果、これを承認した。

7 ソフィア大学（ブルガリア）との大学間交流協定の更新について

近藤委員から、ソフィア大学（ブルガリア）との大学間交流協定の更新について、資料 7 により提案があり、審議の結果、これを承認した。

8 静岡大学環境報告書 2021 について

塩尻委員から、静岡大学環境報告書 2021 について、資料 8 により提案があり、審議の結果、これを承認した。

9 国立大学法人ガバナンス・コードにかかる適合状況等に関する報告書（令和 3 年度）について

片田委員から、国立大学法人ガバナンス・コードにかかる適合状況等に関する報告書（令和 3 年度）について、資料 9 により提案があり、審議の結果、これを承認した。

10 国立大学法人静岡大学経営協議会学外委員について

議長から、国立大学法人静岡大学経営協議会学外委員 1 名の辞任に伴う、後任の学外委員候補者について、資料 10 により提示があり、意見を聴取したが、特段の意見はなく承認した。

11 教員の懲戒について

議長から、教員の懲戒処分案について、席上配付資料により提案があり、審議の結果、原案どおり承認した。

Ⅲ 報告事項

1 令和3年度第5回企画戦略会議（令和3年9月1日）報告

議長から、令和3年度5回企画戦略会議（令和3年9月1日）について、資料11により報告があった。

2 教員採用等報告について

議長から、教員の昇任1件について、資料12により報告があった。

3 「アジアブリッジプログラム（ABP）を履修する場合の外国人学生の授業料不徴収について」の一部改正について

近藤委員から、「アジアブリッジプログラム（ABP）を履修する場合の外国人学生の授業料不徴収について」の一部改正について、資料13により報告があった。

4 留学生の賠償責任保険加入について

近藤委員から、留学生の賠償責任保険加入について、資料14により報告があった。

<委員から出された意見等>

- ・ 高倉委員から、対象となる留学生には、研究生・科目等履修生・特別聴講学生などの非正規生も含まれるのか質問があり、近藤委員から、対象は非正規を含む全留学生であるが、1年未満の受入期間である非正規学生については、費用対リスクを考慮の上、柔軟な運用を行っていただいても構わないとの回答があった。

5 第5期静岡大学研究フェロー及び若手重点研究者の選定について

川田委員から、第5期静岡大学研究フェロー及び若手重点研究者の選定について、資料15により報告があった。

6 静岡大学プロジェクト研究所の設置を取り消す場合の取扱いについて

川田委員から、静岡大学プロジェクト研究所の設置を取り消す場合の取扱いについて、資料16により報告があった。

また、川田委員から、プロジェクト研究所支援チームが想定していなかった業務が発生しているため、今後、運営のルールを整備したいとの発言があった。

7 静岡大学で発生した情報インシデントについて

川田委員及び長谷川情報基盤センター長から、静岡大学で発生した情報インシデントについて、資料17により中間報告があった。

8 学長決裁により改正した規則等について

議長から、学長決裁により改正した規則等について、資料18により報告があった。

9 令和3年度静岡大学地震防災WEBセミナーの実施結果について

片田委員から、令和3年度静岡大学地震防災WEBセミナーの実施結果について

て、資料19により報告があった。

IV その他

1 会計検査院による会計実地検査について

片田委員から、10月19日（火）から21日（木）に行われる会計検査院による会計実地検査について、資料20により協力依頼があった。

2 ジェンダーイノベーション講演会の開催について

本橋委員から、9月30日（木）にオンライン開催するジェンダーイノベーション講演会について、資料21によりお知らせがあった。

3 新型コロナウイルス感染症に関する大学の対応について

議長から、新型コロナワクチン大学拠点接種の実施状況について報告があった。また、緊急事態宣言を受け、活動指針レベル3+の引き上げを9月末まで延長しているが、その後のレベルの検討については国等の方針がみえてきた段階で行う予定である旨の発言があった。

<委員から出された意見等>

- ・ 金原委員から、静岡市については、現在、陽性者の同居者のみ濃厚接触者として自宅待機となっており、学生同士の感染がみえず注意しなければいけない状態になっているとの発言があった。これに対して、坂下学務部長から、学生の陽性が確認された場合、1週間の行動履歴を確認し、濃厚接触者を把握して、状況に応じて自宅待機を要請しており、今後も自治体等の取扱いに注視しながら対応していきたいとの発言があった。
- ・ 笹原委員から、大学拠点接種のほかに、自治体等で接種した教職員・学生がいるので、デリケートな問題で調査が難しいことは承知しているが、接種率の調査を検討いただきたいとの要望があった。

以上